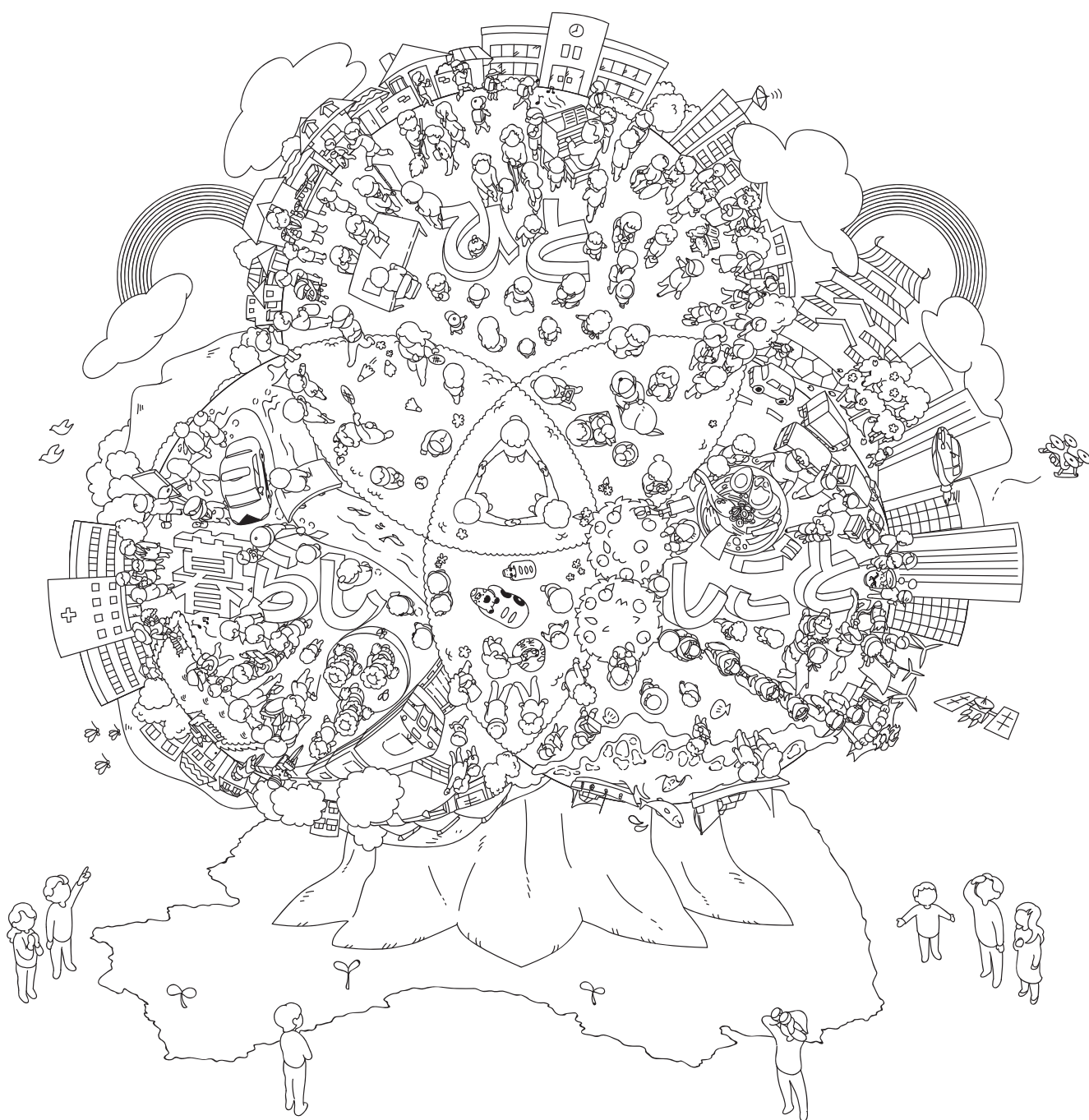


福島県総合計画

(2022▶2030)

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる ふくしまを共に創り、つなぐ



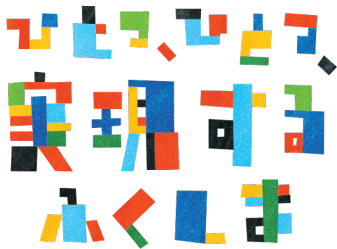
福島県のスローガン

ふくしまから はじめよう。(平成24(2012)年3月11日～)



ひとりひとりが復興に向けて歩み始めよう。
そして、ふくしまから、新たな流れを創っていこう。
福島県は、大震災そして原子力災害から必ず立ち直ります。
福島県の復興は、新たな社会の可能性を示していくということでもあります。
ふくしまから新たな流れを創っていききたい。
「ふくしまから はじめよう。」は、
そうした、未来への意志を込めたスローガンです。

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま (令和3(2021)年3月12日～)



震災から10年を機に、福島県は、
「ふくしまから はじめよう。」からのバトンを渡す、
新スローガンを策定しました。
「はじめる」から「かなえる」へ。
ひとりひとりの力を重ね、それぞれの想いを繋ぎ、
ともに、ひとつずつ、しっかりと、カタチにし続けていこうと。

新スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」は、
復興に向けて歩んできた「これまで」と、
新しい未来に繋げていく「これから」と、
県民のみなさんひとりひとりの「今」を重ねたメッセージです。
ロゴデザインは、さまざまな人々が集まって作る「実現」を、
豊かで多様な色と形の集積で形成しています。

※表紙について

表紙のイラストは、県民の皆さんや福島に思いを寄せてくださる全ての皆さんと共に創り上げる2030年のふくしまの将来の姿をイメージしたものです。

このイラストはモノクロ(白黒)で、まだ色が付いていません。そこには、裏表紙にも掲載している「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」のスローガンの下、計画を一つ一つ形にしていくことによって、将来の姿をみんなで染め上げていきたい(創り上げていきたい)という思いを込めています。なお、着色したイラストも35ページに掲載しています。



東日本大震災と原発事故から10年が経過しました。

この間、県民の皆さんお一人お一人の懸命な御努力と、本県に心を寄せてくださる多くの皆さんからの温かい御支援により、福島復興は着実に前進してまいりました。

改めて、皆さんのこれまでの御努力と御尽力に心から感謝を申し上げます。

一方で、復興はいまだ途上であり、さらには、急激な人口減少や令和元年東日本台風、令和3年福島県沖地震などの自然災害のほか、新型コロナウイルス感染症への対応など、本県は多くの困難な課題を抱えています。

こうした中、県では新しい福島県総合計画を策定しました。この計画は、9年後を見据えた県の最上位計画であり、県政の羅針盤となるものです。

県では、様々な課題を克服し、県民の皆さんと共に福島復興を更に前へと進めるため、総合計画を策定するに当たり、今回初めて、小学生から大学生までを対象とした対話型ワークショップを行うなど、多くの県民の皆さんに計画づくりへ参加していただきました。

特に未来を担う子どもたちからは、「一度、県外に出てもまた戻って来たい、福島県出身であることに誇りを持てる県になってほしい」と願う声に加え、「福島の良さや正しい情報を発信したい」、「伝統を大切に残して多くの人に広めたい」といった意見が数多く出されました。

こうした県民の皆さんとの対話を通じて見出された、今後の県づくりにとって大切な理念。それは、「共に助け合うこと」、「様々な変化にしなやかに対応すること」、「福島が誇るおいしい食、美しい自然、温かい心などの魅力や強みを見つめ直し、次世代へつなぐこと」。これらを踏まえながら、自然災害や新型コロナウイルス感染症などの困難を乗り越え、震災・原発事故からの復興・再生、人口減少対策などの取組を着実に進めた先にある2030年をイメージし、

「やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる ふくしまを共に創り、つなぐ」

を基本目標として掲げました。これは、世代を超えて持続可能な福島の将来の実現に向けて、県民の皆さんと共有したい思いを形にしたものです。

計画策定は県政の新たなスタートです。

県では、震災後、これまでの10年間は、とにかく何かをはじめめることを第一に、「ふくしまから はじめよう。」をスローガンに掲げ前に進んできましたが、震災から10年を機に新たなスローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」を策定しました。

「はじめる」から「実現する」、「はじめる」から「かなえる」へ。

県民や国内外の皆さんが復興を実感し、将来に夢や希望を持つことができるよう、挑戦を進化させ、一つ一つ着実に実現させていくことが重要です。

今を生きる私たちの世代、そして将来の世代、未来の子どもたちが、「福島に生まれて、育て、働いて良かった」と思える福島、お一人お一人が豊かさや幸せを実感できるような未来を創るために、県民の皆さんや本県に思いを寄せてくださる全ての皆さんと共に挑戦を続けてまいります。

令和3年10月

福島県知事 内堀 雅雄

第1章

総合計画の基本的事項

1	計画策定の趣旨	10
2	策定過程における県民参加	10
3	計画の特徴	11

第2章

福島県を取り巻く現状と課題

1	復興・再生の現状と課題	
	(1) 避難地域の復興・再生	14
	(2) 避難者等の生活再建	15
	(3) 風評払拭・風化防止対策の強化	16
	(4) 福島イノベーション・コースト構想の推進	17
	(5) 新産業の創出・地域産業の再生	18
	(6) 復興を支えるインフラ等の環境整備	18
	(7) 廃炉に向けた取組	19
2	地方創生の現状と課題	
	(1) 総人口の推移と将来推計	20
	(2) 人口減少が地域社会に与える影響	21
	(3) 「福島県人口ビジョン」について	22
	(4) 福島における地方創生の課題について	22
3	横断的に対応すべき課題	
	(1) 頻発化・激甚化する自然災害への対応	23
	(2) 新型コロナウイルス感染症への対応	24
	(3) 地球温暖化対策	26
	(4) デジタル変革（DX）の推進	26

第3章

みんなで創り上げるふくしまの将来の姿

1	県民の皆さんからの意見	28
2	県づくりの理念	32
3	基本目標	33
4	みんなで創り上げるふくしまの将来の姿	34
5	SDGsの視点による将来の姿について	37

第4章

政策分野別の主要施策

1	大事にしたい視点	42
2	横断的な施策の推進	
	(1) 頻発化・激甚化する自然災害への対応	43
	(2) 新型コロナウイルス感染症への対応	44
	(3) 地球温暖化対策	45
	(4) デジタル変革（DX）の推進	46
3	政策分野別の主要施策の体系	47
	ひと分野	55
	全国に誇れる健康長寿県へ	56
	結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり	62
	「福島ならではの」教育の充実	66
	誰もがいきいきと暮らせる県づくり	72
	福島への新しい人の流れづくり	78

暮らし分野	81
東日本大震災・原子力災害からの復興・再生	82
災害に強く治安が確保されている安全・安心な県づくり	90
安心の医療、介護・福祉提供体制の整備	96
環境と調和・共生する県づくり	102
過疎・中山間地域の持続的な発展	108
ふれあいと親しみのある魅力あふれる県づくり	112
しごと分野	119
地域産業の持続的な発展	120
福島イノベーション・コースト構想の推進	124
もうかる農林水産業の実現	130
再生可能エネルギー先駆けの地の実現	136
魅力を最大限いかした観光・交流の促進	140
福島の産業を支える人材の確保・育成	144
地域を結ぶ社会基盤の整備促進	148

第5章

地域別の主要施策

1 地域別の基本方向	153
2 地域別の主要施策	154
県北地域	156
県中地域	162
県南地域	168
会津地域	174
南会津地域	182
相双地域	188
いわき地域	196

第6章

計画の推進のために

1 計画推進に当たっての考え方	204
2 計画の進行管理	205

資料編

関連資料

1 SDGsについて	208
2 地域社会（県）づくりの様々な主体の役割	209
3 政策分野別の主要施策一覧	210
4 指標一覧	240
5 基礎自治体の補完・連携の仕組み	280
6 分野別計画等一覧	286
7 策定の経過	296
8 諮問文・答申文・県議会意見	298
9 福島県総合計画の変遷	304
10 用語索引	306

総合計画の基本的事項(第1章)

- ①総合計画は、県のあらゆる政策分野を網羅し、県づくりの指針や施策を示す県の最上位計画
- ②計画期間は、令和4(2022)年度から令和12(2030)年度までの9年間
- ③本計画の実行計画として、「ふくしま創生総合戦略」と「第2期福島県復興計画」を復興・再生、地方創生を推進する両輪として位置付ける など

みんなで創り上げるふくしまの将来の姿(第2章・第3章)

福島県を取り巻く現状と課題(第2章)

- ①復興・再生の現状と課題
- ②地方創生の現状と課題
- ③横断的に対応すべき課題(自然災害、新型コロナウイルス感染症、地球温暖化対策 など)

策定過程における県民参加(第1章) 県民の皆さんからの意見(第3章)

県民の総合計画への関心を高めるため、策定過程において、幅広い年代から多くの意見を聴取

- ①総合計画審議会、②地域懇談会、③市町村との意見交換、④対話型ワークショップ(小中学生・高校生・大学生)、⑤アンケート など

県づくりの 理念

- 多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会(県)づくり
- 変化や危機にしなやかで強靱な地域社会(県)づくり
- 魅力を見いだし育み伸ばす地域社会(県)づくり

基本目標

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる
ふくしまを共に創り、つなぐ

みんなで創り上げるふくしまの将来の姿(第3章)

- | | | |
|--|---|--|
| <p>「誰もが活躍できる」
「ひとりぼっちにしない」
「人とのつながり・支え合い」などの
“ひとを大切に作る”
=「ひと」</p> | <p>「医療・福祉が充実」
「災害や犯罪が少ない」
「子どもが育てやすい」「自然豊か」などの
“安心・快適に暮らせる”
=「暮らし」</p> | <p>「産業や観光が盛んである」
「雇用の受け皿がある」
「一次産業の活性化」などの
“働きたい場所(仕事)がある”
=「しごと」</p> |
|--|---|--|



“ひと”「暮らし」「しごと」が
調和しながら
シンカ(深化、進化、新化)する
豊かな社会”を目指します。

具体的な将来の姿について、
・普遍的な課題に照らして県づくりの方向性を示すため
・福島に心を寄せる人々との連携・協働を深めるため



世界の共通言語である
SDGsの視点で描く

政策分野別の主要施策(第4章)

〈大事にしたい視点〉

誇り

連携・共創

挑戦

ご縁

信頼

自然災害・新型コロナウイルス・地球温暖化・デジタル変革などへの対応

ひと分野

- ① 全国に誇れる健康長寿県へ
- ② 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり
- ③ 「福島ならではの」教育の充実
- ④ 誰もがいきいきと暮らせる県づくり
- ⑤ 福島への新しい人の流れづくり

暮らし分野

- ① 東日本大震災・原子力災害からの復興・再生
- ② 災害に強く治安が確保されている安全・安心な県づくり
- ③ 安心の医療・介護・福祉提供体制の整備
- ④ 環境と調和・共生する県づくり
- ⑤ 過疎・中山間地域の持続的な発展
- ⑥ ふれあいと親しみのある魅力あふれる県づくり

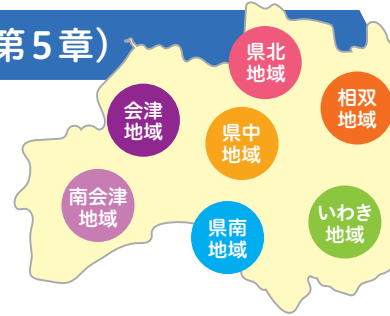
しごと分野

- ① 地域産業の持続的発展
- ② 福島イノベーション・コースト構想の推進
- ③ もうかる農林水産業の実現
- ④ 再生可能エネルギー先駆けの地の実現
- ⑤ 魅力を最大限いかした観光・交流の促進
- ⑥ 福島の産業を支える人材の確保・育成
- ⑦ 地域を結ぶ社会基盤の整備促進

地域別の主要施策(第5章)

7つの地域それぞれにおける地域の課題や主要な施策を示します。

- 地域の概要・特徴
- 地域の課題
(目指す方向性、地域の課題、主要施策)



計画の推進のために(第6章)

- ① 計画推進に当たっての考え方
- ② 計画の進行管理
PDCAマネジメントサイクルによる自己点検、第三者による評価
(総合計画審議会、地域懇談会)

8つの重点プロジェクト

- ① 避難地域等復興加速化P
- ② 人・きずなづくりP
- ③ 安全・安心な暮らしP
- ④ 産業推進・なりわい再生P
- ⑤ 輝く人づくりP
- ⑥ 豊かなまちづくりP
- ⑦ しごとづくりP
- ⑧ 魅力発信・交流促進P

計画の構造

